



今後の主な行事予定

【2月】

- 9 (金) 小論文トレーニング②
模擬裁判①
- 10(土) 土曜課外①②
土曜講座①
登校学習会②
- 11(日) ● 建国記念の日
- 15(木) 試験時間割発表
- 17(土) 土曜課外・土曜講座
登校学習会(予備日)
- 22(木) 第5回定期試験
[~27(火)]
- 25(日) 国立大学前期試験
- 26(月) 国立大学前期試験
- 28(水) 卒業式予行・表彰式

【3月】

- 1 (木) 第53回卒業式
- 3 (土) 春季特別課外①②
- 4 (日) 春季特別課外①②
- 8 (木)~ 国立大学中期試験
- 12(月)~ 国立大学後期試験
- 22(木) 進路講演会①②
合格者体験談①②
- 23(金) 終業式・離任式

※○数字は学年を示します



<センター試験を終えて~2018年大学入試センター試験成績速報~>

大学入試センター試験が1月13日(土)、14日(日)の2日間の日程で行われました。地域によっては、大雪の影響で交通機関が乱れ、開始時刻の繰り下げ措置がとられた会場もありました。甲府市内は1月らしい朝晩の厳しい冷え込みがありましたが、風もなく穏やかな晴天となりました。日中は日差しの暖かさも感じられ、昼休みには多くの生徒が外に出てきて、ベンチや階段、あるいはロータリーの周りに陣取って友人同士でお弁当を食べる光景が見られました。本校の生徒は山梨大学(武田キャンパス)、山梨県立大学(池田キャンパス)の2会場で、試験に臨みました。例年心配されるリスニング機器の不具合による再試験などのトラブルもなく、両日とも無事受験を終えることができました。



今年のセンター試験は、各教科・科目とも昨年度と平均点の変動がほとんどなく、総合得点の平均点もほぼ昨年並みという予想で、ベネッセ・駿台の自己採点集計によると、900点満点換算による総合平均は、文系が554点(去年は556点)、理系が564点(去年は562点)となっています。全国の得点分布の状況は、720点以上800点以下の層が減少しているのが今年度の特徴で、この影響でボーダーラインが変動している大学については出願の際には注意が必要でした。年度による多少の難易差はあるものの、全国平均はおおむね得点率6割以上となっており、国立大に合格するためには、6割を超える得点が目標と言えそうです。2年生の皆さんはセンター試験本番演習では、本番を想定して、今年度の問題にチャレンジしてみましたが、どうだったでしょうか。基礎力が問われるセンター試験とはいえ、高得点をとることの難しさを感じた人が非常に多かったと思います。



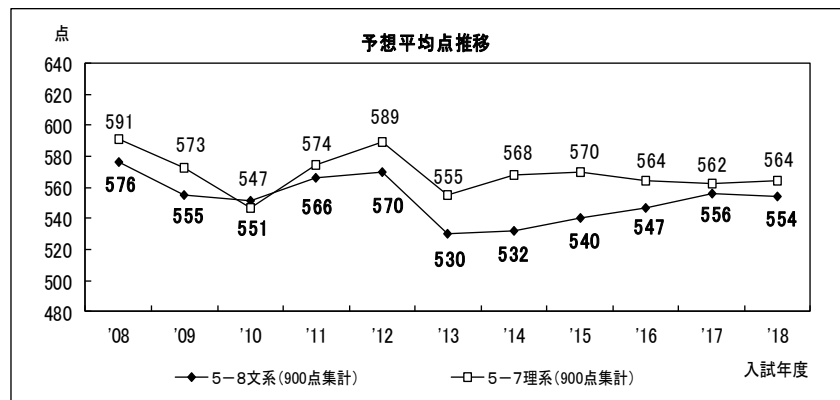
自分の現状を把握し、進路目標までの距離感を意識するという点で良い機会であったと思います。センター試験の範囲は、日常の学習内容そのものです。毎日の授業にしっかり取り組み、基本事項の確実な習得に努めてください。2年生の皆さんにとっては1年後は皆さんが受験する立場になります。受験生としてのスタートをいち早く切ってほしいと思います。1年生の皆さんも高校生活の3分の1が終わろうとしています。これまでの生活を振り返り、反省点を踏まえて課題を明確にし、その克服に努めてください。

さて、3年生の皆さん、私大受験も本格的に始まり、2次試験も迫ってきています。センター試験という本番を体験して得た自分の課題を整理して、その克服に努めてください。勝負はこれからです。最後まで粘り強く立ち向かい、志望校への合格を勝ち取ってくれることを期待しています。

センター試験激励会(1/12金)



【祈願のダルマへ目入れ】
頑張れ！3年生



① できるものから手をつけよう

問題全体にざっと目を通し、大まかな時間配分を決め、やさしいもの、得意なものからスタート。できるはずの問題を絶対に取りこぼさない。難しい問題ではほとんど差はつかない。

② 問題文を2回読み、出題者の意図を正しくつかもう

設問の趣旨を取り違えたり、解答欄や記号、記入方法の間違った解答では得点ゼロ。一字一句を熟読し、要求通りの解答を作ろう。問題の裏に隠されている出題者の意図を読み取ることが大切。

③ 正確な日本語で答えよう

文法的な誤りや論理の矛盾は禁物。簡潔で正しい文章を書くように心がけよう。紛らわしい文字例えば、ツとシ、ソとリ、aとd、uとv、1と7などは、しっかりと書き分けよう。

④ 不必要なことは書かない

解答欄をびっしり埋める必要はない。不必要なことを書くと、解答のポイントがボケてしまう。欄外であっても余計なことは絶対に書かないこと。

⑥ 誠意をもって答案作成を

答案用紙は、自分の考えを採点者に伝えるメッセージ。「採点者に答案を読んでもらう」という意識で丁寧に答案を書くようにしましょう。正確に伝わるよう、丁寧かつきれいに。

共通テスト」試行調査(プレテスト) ～問題と正答率の速報値を発表～

2020年度からセンター試験に代わって実施される「大学入学共通テスト」の試行調査(プレテスト)が昨年11月に実施されました。今回のプレテストは、全国の高校のおよそ38%の1,889校、延べ人数17万8,000人が参加し、英語を除く国語、数学(「数学I・数学A」、「数学II・数学B」)、地歴公民(世界史B、日本史B、地理B、現代社会)、理科(物理、化学、生物、地学)の、5教科11科目が実施されました。センター試験と共通テストの最も大きく異なる点は、「国語」と「数学I・A」に記述式問題が導入されることです。国語では、ある高校の部活動の終了時間をめぐって、生徒会規約や校内新聞など5種類の資料を複合的に読み合わせて、生徒会内での会話文を制限字数で補足させる問題が、「数学I・数学A」では、2次関数の頂点について数式を用いて説明させる問題が出題されました。現行のセンター試験のような選択肢式の問題の中にも、例えば地理Bでは、正解の個数を示さずに、正しいものをすべて選ばせる問題が新たに問題が出題され、この問題の正答率は他の問題と比べて非常に低い22.1%でした。

さらに、選択肢式の問題でも、知識の理解の質や思考力を問う問題が出題されました。「数学I・数学A」では、文化祭で販売するTシャツの価格について売り上げが最大になる価格を考えさせるものがありました。これらの背景には、「共通テスト」と同じく2020年度に小学校から順次導入されていく次期学習指導要領の考え方があります。中央教育審議会は、グローバル化や情報化が進み、予測困難なこれからの社会を生きていく子どもたちに必要なのは、自ら問いを立て、対話の中で問題を解決する力だという考えを示しています。それを受け、次期学習指導要領では「主体的・対話的で深い学び」が重視されています。学習指導要領改訂と入試改革はセットで進められており、こうした方向性が今回のプレテストに色濃く反映されているようです。記述式問題の採点方法の公平性など、これから解決していくべき課題もありますが、2020年度からはいよいよ「共通テスト」が導入されます。今回の教科別の問題と正答、各問題の正答率は下記のURLから見る事ができます。

1・2年生のみなさんもトライしてみるといいでしょう。

◇1・2年生の皆さんへ ～この時期の過ごし方～

3月3日(土)・4日(日)の2日間に実施される春季講座の予備調査の結果1・2年生から昨年とほぼ同数の140名程の参加希望がありました。今年は、昨年に引き続き予備校で定評のある古文の鳥光宏先生にご講義いただきます。2日間の集中講義という形式ですが、最前線で活躍されている先生の講座は、今後の学習への大きな刺激になるものと思います。来週中には正式な案内をしますので積極的に参加をしてください。

「1月は行く」、「2月は逃げる」、「3月は去る」、と言われますが、この時期は時間の経つのが早く感じられます。2週間後には最後の定期試験が迫りそれぞれ学年の総仕上げというべき時期を迎えています。定期試験終了後から新学年を迎える4月までの期間は大切な期間でもあります。落ち着いた生活を心がけ、新年度への準備をしっかりと進める工夫をしてください。

『何も咲かない寒い日は、下へ下へと根を伸ばせ。』



URL <http://www.kofuminami-h.ed.jp>
E-mail shinro@kofuminami-h.ed.jp

山梨県立甲府南高等学校
進路指導部